

ももっち、さわやか旋風

しずおか大道芸新聞

第17号

大道芸ワールドカップに出場

クールな身のこなしとビシッと決まるジャグリング、そしてさわやかな笑顔で観客を沸かす静岡の大道芸人ももっち。十一月の大道芸ワールドカップでも見逃せないそんな彼が、ジャグリングとの出会いと、大道芸人になるまでにたどってきた道を振り返る。



■大道芸人ももっち
〈ジャグリング〉
長野県出身。2003年から本格的に大道芸を始める。大道芸の他に静岡県内外のイベントでも活躍中。好きな食べ物はパンパンジー。

▲2005年9月25日(日)、けやき通りで大道芸をするももっち

今

回は僕が大道芸を始め
たきっかけを話したい
と思います。

一九九七年に、バンダイから発売されたハイパーヨーヨーに夢中になっていた頃からです。その当時のヨーヨーブームは凄まじく、ヨーヨーの認定制度(全国に認定店があり、規定トリックをクリアしていくことにより、レベルの認定をもらえるという制度)があり、とにかく流行している一つの認定店に三〇〇人を超える人が認定されに来ることもありました。そしてお互いの技術を競い合うために全国各地で大小の大会が開かれていました。一時は、幕張メッセ、ナゴヤドーム、大阪ドーム、福岡ドームなどの大規模施設で大会が行われるほどでした!

そんな中:当時から一人として小遣いを貯めては新しいヨーヨーを買いあさり、名古屋や東京の大会を見に行っていました。腕前は自分で言うのもなんですが結構上手かったですよ(笑)

当時は「ヨーヨーを仕事にできたらいいのになあ」となんて、ずっと思っていました。そしてヨーヨーブームも終わりのころ、僕は高校受験があり、ヨーヨーからだんだん遠ざかっていきました。それから二年間は以前ほどの熱意を持ってヨーヨーにのめり込むことはありませんでした。

さてさて、ヨーヨーから離れてしまった僕は高校に入りヨーヨーに代わる何かを探していました。そして入学してから二ヶ月が経った頃にダンス同好会に入部することにしました。なぜダンスかと言うと、僕は結局何かのパフォーマンスをして食べていけたらと考えるようになっていたからです。

どんなパフォーマンスをするにしても、動きは綺麗な方がいいと単純に考えていました。だからダンスを始めてみました。そして地元のコテストに出場したり文化祭で発表があったり、ヨーヨーの時もそうでしたが仲間と何か演じるのは基本的に好きなので、すぐにダンスにのめり込みました。ダンスは僕にとっても充実感を与えてくれました。

それから、ヨーヨーをほとんど練習しなくなった高一の終わりごろ、僕は昔のヨーヨー仲間から誘われて約二年ぶりにヨーヨーの大会を見に行きました。その時にヨーヨーの進化にビックリしたのを覚えています。

「ヨーヨーにはまだこんなに可能性が残っていたのか」と、とても感心しました。しかし、もつと心惹かれたものがありました。当時まだ学生だった矢部亮くんが七ボイルをしていたのを見た時、僕は「これだ」と思いました。そして高二になり、パソコンを買って、インターネットで

さてさて、ヨーヨーから離れてしまった僕は高校に入りヨーヨーに代わる何かを探していました。そして入学してから二ヶ月が経った頃にダンス同好会に入部することにしました。なぜダンスかと言うと、僕は結局何かのパフォーマンスをして食べていけたらと考えるようになっていたからです。

どんなパフォーマンスをするにしても、動きは綺麗な方がいいと単純に考えていました。だからダンスを始めてみました。そして地元のコテストに出場したり文化祭で発表があったり、ヨーヨーの時もそうでしたが仲間と何か演じるのは基本的に好きなので、すぐにダンスにのめり込みました。ダンスは僕にとっても充実感を与えてくれました。



▲終盤のファイヤーショー

ジャグリングの道具を注文しました。

最初に手に入れた道具はボール三個、シガーボックスセット、クラブ三本でした。

それから本場に独学で日々練習に明け暮れ、自宅や学校などで時には授業中も（バシてたかも…）練習をしていました。

たまたま地元の公民館やお祭り、ヨーヨーでお世話になったおもちや屋さんなどでパフォーマンスをさせてもらって、まだ五分十分程度で、到底魅せるなんて代物ではなかったのですが、本番の舞台に立たせてもらえる機会にも恵まれていました。

そんな中でジャグリングを初めて一年が経ち、高三になった春、なんと僕の通っていた高校の近くの駅ビルに、無料でレンタルできるステージが作られました。

そのステージは、平日ほとんど使われないとのことなので、練習に使わせていただけるとのことでした。

そのステージは地元のケーブルテレビが経営していて、ある時ケーブルテレビのイベントの前座に君の芸を披露してみないか？というお話をくださいました。

僕はもちろんお請けして、十分程のショーを披露しました。その時に、ケーブルテレビの代表取締役の方が僕のことを気に入ってくださり、さらにたくさんのステージに立てるようにになりました。

そんな僕ですが、やはり親の反対はありました。

最初にパフォーマーになりたいたと言ったときは、「アンタ何言ってるの？」と全然本気にしてくれませんでした。しかし、ジャグリングを初めて一年が経ち、やっとパフォー

ーマンスらしくなってきたある日、テレビの取材を受けることになりました。それはフジ系のスーパーニュースの地方放送枠で、地元の頑張っている青少年を取り上げたいとのことでした。

取材を受ける中、両親のインタビューで初めて父と母が「これだけ真剣にやっているなら応援しようか。でも世間様に放送されるんだからもう後戻りできないよ」と言ってくれました。

これが決め手となり、本気で大道芸人になろうと決心しました。

やはり誰かに反対されてパフォーマーになっても意味がありません。特にそれが両親ならなおさらです。僕はこうして大学入学と同時にストリート舞台へと立ちました。大道芸の世界は一見華やか

ですが、その裏で、大道芸だけで食べていくには相当の努力が必要で、たまに、「こんなに大変な大道芸なんてやめて、普通に生活したら安定するのになあ」なんて考えることもあり。しかし、自分で決めた道だから、ここでやめたら両親や応援してくる人の期待を裏切ってしまうと、心に言い聞かせています。

これが僕の大道芸を始めたきっかけです。みなさん、一度見たパフォーマンスをもう一度見直してみてください。今度はそのパフォーマンスの裏に隠された人間性にもふれてみてください。きっと今までは違った面白さがあるはずですよ。

<http://www.geocities.jp/juggling117/newpage1.htm>
文 【ももっち】
写真 【原田郁子】

7千パフォーマーになろう！

ミニワークショップ
in
大道芸ワールドカップ
in 静岡

大道芸ワールドカップの期間中、街中のどこかで、バルーン・パントマイム・ポイなどのワークショップが開講します！そこで、ヨーヨーの講師となったレイ君にヨーヨーについて語ってもらいました。

今

年も「大道芸ワールドカップ静岡」が十一月三日～六日の四日間、この静岡の街で開催されます。私は五年前から毎年観客として参加し、楽しんできました。今年も自分にとっていつもとは少し違う楽しみ方ができる年かもしれません。それは、今年の「大道芸ワールドカップ静岡」開催中のイベントとして、しまる会主催のプチパフォーマー教室が開かれることとなり、教室項目の一つ、「ヨーヨー」の講師をさせてもらうことになったからです。当日の目標としては、ヨーヨーを振り下ろし、紐が伸びきった状態でそのままヨーヨーの回転を維持する技、「ロングスリーパー」をできるようにすることも。もし余裕があれば、他にも簡単な技を二、三個覚えてもらうことです。とにかく参加者の皆さんにヨーヨーに楽しく親しんでもらえれば嬉しいのです。

さて、今からはこのヨーヨーについてのちよつと詳しい紹介、遊びを超えた競技としての、芸としてのヨーヨーについて書かせてもらいたいと思います。

まず、皆さんの知っているヨーヨーってどんなものですか？ブリキや木でできた、上下運動をさせて遊ぶヨーヨー。数年前にブームとなった、ハイパーヨーヨー。一九七〇年代に流行した、コカコーラヨーヨーなんてものもありました。いずれも子供のおもちゃ」と

大道芸カレッジに参加!

クラウン・よっち

今年で13回目となる”静岡大道芸カレッジ2005”に、サークル仲間のなちゃん・郁ちゃんと一緒に参加してきました。このカレッジは、11月に開催される”大道芸ワールドカップ in 静岡”に市民クラウンとして参加するための勉強会です。クラウンはサーカスなどでお馴染みの道化役。会場を訪れたお客さんにちょっと変わったメイクや服装をしてご挨拶(正確には、クラウンは人間ではない。夢の存在です)。滑稽な仕草で笑わせたりして楽しんでもらいます。

今回、クラウンの歴史からメイクや服装、基本的な動作からコンビ・ギャグまで、盛りだくさんの内容にハードなスケジュールでしたが、クラウンを目指す愉快的仲間達との合宿は大変有意義な日々でした。講師の白井先生や”もっちい”さん、スタッフの方々も生き生きとされていて素晴らしい方々です。とはいえ、本番はこれから!クラウンは、決して主役になる存在ではないけれど、その存在感は自分の目指すところでもあります。大道芸ワールドカップを訪れる一人でも多くの人達に楽しんでもらえるよう、そして安全な運営のために頑張りたいと思います。あ、もちろん自分も楽しんでいきますよ… All for you, it's my pleasure.

今回、クラウンの歴史からメイクや服装、基本的な動作からコンビ・ギャグまで、盛りだくさんの内容にハードなスケジュールでしたが、クラウンを目指す愉快的仲間達との合宿は大変有意義な日々でした。講師の白井先生や”もっちい”さん、スタッフの方々も生き生きとされていて素晴らしい方々です。とはいえ、本番はこれから!クラウンは、決して主役になる存在ではないけれど、その存在感は自分の目指すところでもあります。大道芸ワールドカップを訪れる一人でも多くの人達に楽しんでもらえるよう、そして安全な運営のために頑張りたいと思います。あ、もちろん自分も楽しんでいきますよ… All for you, it's my pleasure.

今回、クラウンの歴史からメイクや服装、基本的な動作からコンビ・ギャグまで、盛りだくさんの内容にハードなスケジュールでしたが、クラウンを目指す愉快的仲間達との合宿は大変有意義な日々でした。講師の白井先生や”もっちい”さん、スタッフの方々も生き生きとされていて素晴らしい方々です。とはいえ、本番はこれから!クラウンは、決して主役になる存在ではないけれど、その存在感は自分の目指すところでもあります。大道芸ワールドカップを訪れる一人でも多くの人達に楽しんでもらえるよう、そして安全な運営のために頑張りたいと思います。あ、もちろん自分も楽しんでいきますよ… All for you, it's my pleasure.

というイメージが強いものです。しかし、今ヨーヨーはどんどん進化を遂げ、遊びとしてだけでなく、競技として、また非常にスポーツ性の高いホビーとして楽しめるものになっていきます。種類も多種多様になり、技の数はとても数え切れないでしょう。また、八月には世界大会がアメリカのフロリダ州オーランドで開催され、開催国アメリカの他、日本、ブラジル、ドイツ、シンガポール、中国など約20カ国から多くの参加者が集まります。いずれの国もヨーヨー協会が存在し、全国大会がそれぞれの国で行われ、日本大会には私も毎年参加しています。競技内容はいくつかありますが、一番の花形は「フリースタイルコンテスト」です。このコンテストは、競技者が三分間、音楽に合わせて自由にヨーヨーを

演技し、その演技を技術点、芸術点で評価、一番高い得点を獲得した選手が優勝するという仕組みになっています。このコンテストは六つに部門分けされ、毎年あつと驚くような技や素晴らしい演技が発表されます。実は、日本はこの世界大会では毎年上位に必ず食い込む、世界でもトップレベルの国なんです。今年の世界大会では、六部門中五部門で日本人が優勝しました。参加者の年齢は10代、20代前半が多いですが、上は50歳くらいの子供から、上は60歳の方まで非常に幅広く、ヨーヨーの特徴の一つである地域や年齢などは関係なく楽しめる、人と人をつなげるコミュニケーションツールとしての一面がよく出ていると思います。大道芸でもヨーヨーをされる方がいますが、それもヨーヨーが遊びというレベルから進化し、世界大会まで

行われるという競技性があり、かつ人に魅せることができる可能性を持つ芸の一種まで到達したことの証明ではないでしょうか。しかし、遊びとして楽しむ気持ちではなくては、これまでヨーヨーが発展することにはなかったのもまた事実です。マニアックな玄人ウケの技術を習得するもよし、大道芸としての魅せる芸として行うもよし、ちよつと時間がある時に遊び程度に振るもよし。色々な楽しみ方ができる可能性を持つ、とつても奥の深いヨーヨー。一度手にとつて、楽しんでみてはいかがでしょう。か



写真【原田郁子】

静岡県出身。Japan National Diabolo Contest優勝など、ヨーヨーやディアボロの大会で数々の賞を受賞。好きな食べ物焼きそば。

あなたにとつて『大道芸』とは何ですか?

大

「大道芸」という言葉は、大きく分けて二種類の考えかたによって使われています。

まずひとつ目の考えかたは「路上で」「道行くひとを立ち止ませ」「パフォーマンスによって何らかの共感を集め」「投げ銭を得る」ことを基本とした考えかたです。細かい条件はさまざまですが、パフォーマンス自体のジャンルや内容については特に強い制限を考えないことがこの考えかたの最大の特徴で、その意味で路上パフォーマンスという「形式」を基本とする考えかたであるといえます。

もうひとつの『大道芸』という言葉の考えかたは、主にパフォーマンスのジャンルや内容によるものです。ジャグリングやパントマイム、クラウンといったジャンルのパフォーマンスは、伝統的に『大道芸』と結びつきが強いものとしてとらえられることが多い。例えば「ジャグリング」大道芸」「大道芸」ジャグリング」のイメージを持つというひとは少なからずいるようです。また、イベント主催者から別途報酬を得ながらも会場内でパフォーマンスを行ったり(その際投げ銭を集める

ことができるかという点でも多少意味が違ってきます。ステージ上でジャグリングやパントマイムの演技をすることを「大道芸。パフォーマンス」と表現するケースがあります。このような場合『大道芸』という言葉の主体はパフォーマンスのジャンルや内容そのものにあると考えていいでしょう。「ジャグリング」大道芸」は確かに極端な解釈ではありませんが、一方で「路上で何かをやればすべて大道芸であり、内容はまったく問わない」「少しでも演者以外の力で舞台が整っている状況で演じるもの



▶「けやき通り」の大道芸(写真は大道芸人もーりー)

は大道芸ではない」とする、逆方向に極端な考えかたを持つひともいます。このように、『大道芸』という言葉の解釈、使いかたには「どの範囲で何を重視するか」によって多様なものが見られます。

もちろん、『大道芸』という言葉そのものに「正しい」意味、解釈というものはありませんし、今後それを統一する必要もありません。また、演者・観客双方とも、『大道芸』という言葉の意味、認識をはっきりと自分の中に持たなければならぬということもありません。しかし、時には自分の中にある『大道芸』という言葉に向き合ってみると、今まで気付かなかった新しいものが見えてくるかもしれません。

文 【え】
写真【原田郁子】

■え
愛知県出身。一九九六年から静岡大道芸サークルに参加。あまるラボの「街角ぐらぐらライセンス」に出演。好きな食べ物は何んこつハンバーグ。

大道芸いんぷお

【★は静岡の大道芸人】

第28回大須大道町人祭

十月十四日(金)「前夜祭」
十五日(土)
十六日(日)

場所 名古屋市中区大須
商店街

★にゃんこ(ネクスト出場)
<http://www.ohsu-gei.net>

第51回豊橋まつり

十月十五日(土)
十月十六日(日)

場所 豊橋市内各所

第11回由比宿まつり

十月十六日(日)
場所 庵原郡由比町由比
本陣公園周辺
★あまる 他

アクトガレリア大道芸

十月二十三日(日) 矢部亮
十一月六日(日) 伊藤佑介
十一月十三日(日) 彦一団子
①十三時②十五時
場所 浜松市アクトシティ
浜松二階ガレリアモール
<http://www.act-tower.co.jp/index.html>

富士子ども劇場まつり

十月二十九日(土) お昼頃
場所 富士市富士中央公園
★あまる ぶるーす

大道芸ワールドカップ

十一月三日(木) 四日(金)
五日(土) 六日(日)

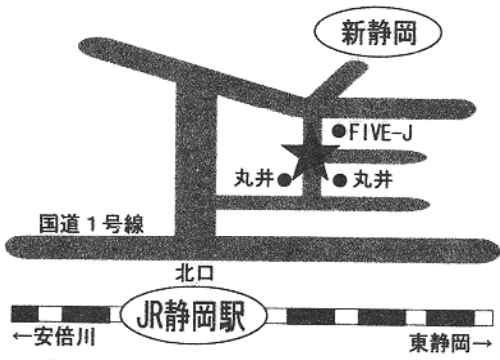
場所 静岡市駿府公園周辺
★ももっち・あまる
(オフ部門出場)
<http://www.daido-gei.com/>

大道芸バトル(仮)

十一月十三日(日)
場所 下田市道の駅
(ベイ・ステージ下田)
★モーリー
<http://www.city.shimoda.shizuoka.jp/daystage/top.htm>

静岡市街の大道芸

静岡市街の大道芸に関する情報は、「しずおか大道芸のまちをつくる会」のホームページにてご確認下さい。(下段最左記参照)



▲大道芸は週末、★の場所周辺で行われていることが多いです。

静岡大道芸サークル

大道芸が好きな仲間たちと一緒にジャクリングの練習をしませんか?小学生から社会人、静岡の大道芸人も参加しています。
<http://www.h4.dion.ne.jp/~nonthe/waps.htm>

ミュージックいんぷお

路上ライブ

Amusement Tao

毎週金曜日 二十一時
詳細はホームページにて
<http://www.taoweb.org/>

いんぷお担当【チャーリ】

あまるラボ

VOI.2を終えて

〇〇五年九月十一日。郵政民営化が大きな争点となった衆議院解散総選挙の投票日と同じ日。JR東静岡駅前の静岡芸術劇場において、私大道芸人あまるが実験的なパフォーマンスを仕掛けるために旗揚げした『あまるラボ』の新作、VOI.2を上演した。ここではその内容については一切触れないが、舞台の一作品としてしっかりとまとまったという充実感、強くなり、完成度はこれまでの舞台作品の中では随一だと自負している。しかしながら、用意したものを完璧に披露し尽くす、限りなく100%を目指すというライヴ作品といえるのは大変なプレッシャーがかかるもので、今回もなかなかキツイ戦いだっただよように思う。それでもやってみようと思うのはなぜだろう。私はその理由に気が付いて、いよいよ抜け出せなくなった。このまま足が削れ落ちるまでプレッシャーと戯れたい。さあ、次はなんだろう。

文 【あまる】
写真【原田郁子】



■あまる
▲曲芸ショー、コメディホラー寸劇他、岩手県出身。二〇〇一年から独自の寸劇に目覚める。今年、大道芸ワールドカップ出場は五回目。好きな食べ物は麻婆豆腐。
<http://amaru.kt.fc2.com/>

《編集後記》

寒くなってきました。お腹を冷やさないようにして寝ましよう。
「ご意見・ご感想、お待ちしております。」

サポーター募集

NPO「しずおか大道芸のまちをつくる会」は、静岡の街中で日常的に大道芸を楽しまるまちづくりを目指しています。会の活動を応援してくれるサポーターを募集しています。サポーターのみなさんには「しずおか大道芸新聞」をお届けします。年会費は一口五〇〇円(年会費)で、お一人様何口でもお申し込み・お問い合わせは代表あまるまたは当会のホームページまで。(この段最左記参照)

しずおか大道芸新聞第17号

二〇〇五年十月五日発行

編集・発行 発行部数三〇〇部

しずおか大道芸のまちをつくる会

(代表) あまる

tel 090-9189-7241

e-mail dabuti.ki@hotmail.com

編集長 原田郁子

http://www.geocities.jp/shizuoka_simarukai/